

V. 特記事項

学生のキャリア形成を支援するための制度について

(1) 単位制インターンシップ

本学では大学独自の単位制のインターンシップ・プログラムを県内大学に先駆けて平成15（2003）年度より設けており、夏期休業中を利用して企業や官公庁においてインターンシップ実習を実施している。実習体験は就職先を選ぶ上での参考だけではなく、職業観の育成や就職活動への自信にも繋がり、就職活動を有利にすすめることができる。また、県内で大きな問題となっているミスマッチに対応し、県内企業における早期離職率問題にも効果的に対応できると考えられる。

(2) キャリアサポート助成金

本学の学部にて在籍する学生が、正課内科目の延長線上に位置づけられる各種資格や各種検定試験等について正課外における自主的な学習により合格した場合、より高度な資格や技能を身につけることを奨励するため、所定の学生補助金を支給している（難易度の区分によって、該当資格受験料～10万円まで設定されている）。

(3) 県外就職活動補助金

沖縄県外で就職活動を行う学生に対して、航空運賃・宿泊費の一部を負担している。県外で就職活動（合同企業説明会・会社訪問・就職試験・インターンシップ等）を行う学生に対して実費分（年度内の上限額3万円まで）を補助し、地理的不便性がある県外就職希望者をサポートしている。

(4) 学部学科個別のキャリア支援

- ① 法学部のキャリア支援科目としては法律学科の「法律実務論」、「法務研究I～IV」、地域行政学科の「行政実務論I・II」、「公務研究I・II」が挙げられる。「法律実務論」、「行政実務論I・II」は、たとえば前者が弁護士、司法書士など、後者が沖縄県知事、宜野湾市長などを講師として招聘し、法律及び行政の実務の最前線を知る機会を提供している。
- ② 経済学部のキャリア支援科目としては両学科の「キャリアデザイン論」、地域環境政策学科の「地域セミナーI・II」が挙げられる。前者は民間企業と、後者は各地の観光協会と協働でPBL（Project Based Learning）を展開している。後者については学科 BLOG において詳細を広報している。
- ③ 産業情報学部では、教育研究活動を側面より支援すると共に、産学官の連携事業及び学術研究などを推進することを目的に設立された沖縄国際大学産業情報学部産学協力会において会員企業が抱えている業務上の課題解決に導くプロジェクトを企業・学生・教員の3者で取り組んでいる。
- ④ 総合文化学部では各学科様々な取り組みをしている。一例として日本文化学科では、卒業生（国語教師、司書、日本語教師、民間企業、公務員）を招聘し、大学時代の生活、就職活動、職場の様子などを具体的事例に基づいて紹介してもらい、具体的なキャリアイメージを持ってもらうことを目指している。